



復興ありがとうホストタウン交流 及び 東京2020関連事業の記録



1. 東京2020開催決定からホストタウン 制度化まで	……p3
2. 三種類のホストタウン制度	……p4
3. ホストタウン登録に向けた経過	……p5
4. 南相馬市の交流相手国	……p6
5. これまでのホストタウン交流について	
◆平成29年度	……p7
・ジブチ派遣交流事業 など	
◆平成30年度	……p9
・復興「ありがとう」ホストタウン講演会	
・野馬追招待交流事業	
・松山市との連携交流事業	
・ホストタウンフェスタ など	
◆平成31年度（令和元年度）	……p14
・寒河江市との連携交流事業	
・アフリカ開発会議関連イベントへの参加	
・高校生による「せかいむすび」レシピ 開発（食文化コラボ事業）	

・あきいち2019への台湾アーティスト出演	
・ジブチ共和国洪水被害たすけあい募金 など	
◆令和2年度	……p27
・原町第二中学校でのホストタウン授業	
・元メジャーリーガーによるワークショップ	
・中学生によるホストタウン応援ソング制作	
・ホストタウンPR動画制作	
・聖火リレーでのホストタウンPR など	
◆令和3年度	……p34
・謝代表とのオンライン交流	
・SNSを活用したジブチ選手団応援	
・ジブチ、台湾アスリートとのWEB交流	
・アリ大使退任挨拶 など	
6. 東京2020大会関連事業	……p39
・東京2020都市装飾事業	
・オリンピック聖火リレー セレブレーション	
・NIPPONフェスティバル「モッコ」	
・パラリンピック聖火フェスティバル	

1 東京2020大会開催決定からホストタウン制度化まで

内閣官房オリパラ推進本部事務局は、東京2020大会の開催を契機に全国の地方公共団体と大会参加国・地域との相互交流や地域活性化を目的としてホストタウンを制度化し、事前キャンプ誘致や選手団等との交流を推進。

背景には、世界中から評価された2002年FIFAワールドカップでの事前キャンプ受入れや参加選手へのおもてなし、東日本大震災後の観光立国推進戦略など。

2013年（H25）9月7日

第125次IOC総会 東京が2020大会開催地に決定

2015年（H27）9月30日

ホストタウン推進要綱制定（通常ホストタウン制度化）

2017年（H29）9月15日

復興「ありがとう」ホストタウン制度化（鈴木担当大臣発表）

2017年（H29）11月6日

共生社会ホストタウン推進要綱制定（共生社会ホストタウン制度化）

2018年（H30）6月11日

復興ありがとうホストタウン連絡協議会設立宣言（ホストタウン首長会議）

(1) ホストタウン

東京2020大会に参加する相手国選手団の事前合宿受入れを通じて、住民と選手団との交流を行う。

(2) 復興「ありがとう」ホストタウン（岩手・宮城・福島限定）

東日本大震災の際に支援いただいた国の関係者や選手団に、感謝を表し住民と交流を行う。被災地であるため事前合宿は必須ではない。

(3) 共生社会ホストタウン

パラ選手との交流などを通じ、障がい者への理解や競技施設のバリアフリー化を推進する。

ホストタウンになるための手続きは同じ

→相互交流について相手国と合意形成を図り、交流計画（登録申請）を作成して内閣官房の登録を受ける。

3 ホストタウン登録に向けた経過

- 当初、通常のホストタウンとして、相馬野馬追など地域の馬事文化や馬事公苑の施設を生かし、馬術競技選手団の合宿受入れを検討していた。
- 馬術競技の事前合宿受入れについて、検疫法の制約により不可能であることが判明したため断念。（検疫隔離期間の関係で大会に参加できなくなる）
- 復興「ありがとう」ホストタウン制度化、震災時に支援を受けた国との交流に向けて検討を再開する。
- ジブチ共和国、台湾などの復興「ありがとう」ホストタウン交流に取り組むことを決定、内閣官房に応募調書を送付。相手国への交流提案活動に着手。
- ジブチ共和国、台湾についてH30.4月に正式登録。
- 静岡県牧之原市と連携し米国サーフィン団体と交渉。H30.6月に正式登録。
- 韓国柔道連盟と交流に関する交渉を行うも合意に至らず、交流予定種目変更。
- 山形県寒河江市と連携し韓国スケートボード団体と交渉、R1.5月に正式登録。

南相馬市の交流相手国は4つの国と地域

ジブチ共和国

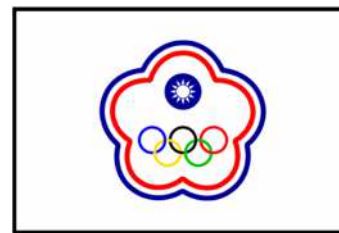
(交流種目: 陸上競技)

ジブチでは多くの青年海外協力隊が活動してきた。震災の際に国民が日本のために祈りを捧げ、南相馬市に多額の義援金を寄付。



台湾

(交流種目: 野球競技)



台湾も地震が多い国。1999年の台湾大地震での日本の援助への恩返しに、沢山の義援金や給食運搬車などを寄付。

南相馬市はもともとオレゴン州ペンドルトンと交流をしていた。震災時にはポートランド日本人商工会等から義援金をいただく。



アメリカ合衆国

(交流種目: サーフィン)



大韓民国

(交流種目: スケートボード)

アイドルグループのサッカーチーム「F.C. M. E. N」が、チャリティーイベントの収益金を寄付。

H29.11 駐日ジブチ大使館表敬訪問(ジブチ)

副市長が駐日大使館を訪問。ホストタウン交流について協力を要請。

H29.12 台湾オリンピック委員会表敬訪問(台湾)

副市長が台湾出張の際に台湾オリンピック委員会を表敬。ホストタウン交流について協力を要請。

H30.1 駐日ジブチ大使館表敬訪問(ジブチ)

副市長が駐日大使館を訪問。ジブチへの職員派遣について協力を要請。

5 これまでの交流について

H30.2 ジブチ派遣交流事業(ジブチ)

市民生活部長及び市内空手指導者がジブチ共和国を訪問。
政府関係者とホストタウン交流について協議するとともに、
現地フクザワ中学校などで空手指導交流を実施。



5 これまでの交流について

H30.2 第1回ホストタウンサミット(共通)

第1回ホストタウンサミット（東京）に市民生活部長が出席し、ジブチ派遣交流事業の成果について発表。

H30.3 駐日ジブチ大使館表敬訪問(ジブチ)

文化スポーツ課長が駐日大使を表敬。ジブチでの交流について謝意を伝える。

H30.4 復興「ありがとう」ホストタウン講演会(ジブチ)

アホメド・アライタ・アリ駐日大使及び米谷光司在ジブチ大使をお迎えし、復興「ありがとう」ホストタウン講演会を開催。市民300名が参加。



5 これまでの交流について

H30.5 米国サーフィンチーム代表との面会(アメリカ)

副市長が下田市で米国サーフィン競技CEOグレッグ・クルーズ氏と面談し、ホストタウン交流について協議。(静岡県牧之原市の協力)

H30.7 野馬追招待交流事業(ジブチ・台湾)

ジブチ共和国と台湾から中学生など20名を本市に招待し、相馬野馬追の観覧やサッカー交流などを実施。

ジブチのアリ大使や米谷大使、台湾の謝長廷駐日代表らも来市され、中学生らと交流して一緒に野馬追を観覧いただいた。



5 これまでの交流について

H30.9 米国サーフィンチーム代表者招待交流 (アメリカ)

米国サーフィンチームCEO グレッグ・クルーズ氏を本市に招待し、市長との意見交換や北泉海岸等を視察いただく。（牧之原市との連携事業）



H30.10 中学生松山市派遣事業(台湾)
愛媛県松山市へ市内野球少年等10人を派遣し、同市で合宿中の台湾代表野球チームから指導を受けるなどの交流を実施。（松山市との連携事業）

H31.2 第2回ホストタウンサミット(共通)

東京で第2回ホストタウンサミットが開催され、本市担当者が内閣官房からホストタウンリーダーとして表彰を受ける。

5 これまでの交流について

H31.2 南相馬市ホストタウンフェスタ (ジブチ・台湾)

ジブチからアリ大使夫妻、台湾から台北駐日
経済文化代表処の向明德政務部長や台湾観光
協会前所長の江明青氏を市に招き、震災時の
支援や両国の歴史文化や魅力などを紹介する
イベントを開催。多数の市民が参加した。



H31.2 ジブチ共和国記念モニュメント披露式典
ジブチのアリ大使臨席のもと、雲雀ヶ原
陸上競技場に設置した、ジブチとの友好
記念モニュメントの除幕お披露目を行った。

5 これまでの交流について

H31.2 市長の台湾訪問(台湾)

市長が台湾へ渡航し、台湾オリンピック委員会及び台湾棒球（野球）協会とホストタウン交流に向けた意見交換のほか、竹山鎮や客家委員会などを表敬。



5 これまでの交流について

H31.3 寒河江市へ韓国との交流について協力要請(韓国)

韓国スケートボード競技のホストタウンである山形県寒河江市へ、韓国ローラースポーツ連盟との交流について協力を要請。

H31.4 寒河江市訪問(韓国)

市民生活部長が寒河江市を訪問し、韓国とのホストタウン交流について改めて協力を要請。

R1.5 台北市長・駐日代表来市(台湾)

柯文哲台北市長及び謝駐日代表が来市され市長はじめ市幹部と面談。
消防・防災センターや福島ロボットテストフィールド等を視察。



5 これまでの交流について

R1.5 寒河江派遣交流事業(韓国)

寒河江市に市内小中学生9名を派遣し、東京2020大会の正式種目に採用されたスケートボードの体験や、同市で合宿中の韓国スケートボード選手団と交流。(寒河江市との連携事業)



5 これまでの交流について

R1.6 第1回ホストタウン首長会議(共通)
首相官邸にて開催されたホストタウン首長会議
に市長が出席しジブチ共和国との交流について
発表。

**R1.7 第1回復興「ありがとう」ホストタウン
連絡協議会(共通)**
岩手県釜石市で復興「ありがとう」ホストタウン
連絡協議会の第1回総会が開催。

会長にオリパラ担当大臣、副会長に岩手県山田町長、
宮城県加美町長、南相馬市長がそれぞれ就任。



R1.8 復興、交流状況についての取材(台湾)
日本台湾交流協会が台湾メディア関係者と共
に来市。
本市復興状況についての取材を受ける。

5 これまでの交流について

R1.8 世界少年野球大会inふくしま(台湾)

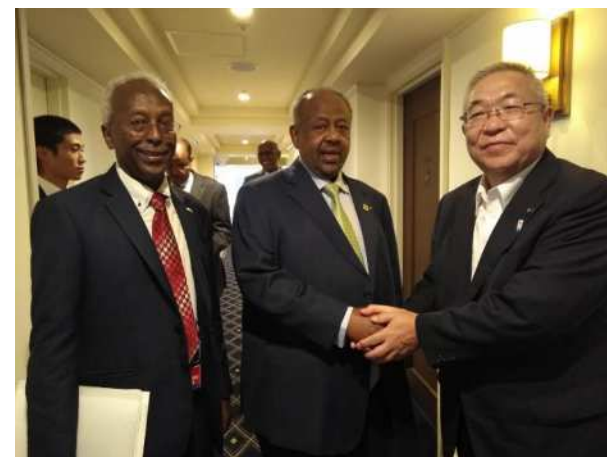
福島市で開催された「世界少年野球大会inふくしま」に市内少年野球チーム「鹿島ウイングス」が参加。台湾の少年野球チームと交流試合を行う。



5 これまでの交流について

R1.8 TICAD7公式サイドイベント(ジブチ)
第7回アフリカ開発会議(TICAD7)が横浜市で開催され、公式サイドイベントに市長が参加。アフリカの国々と交流するホストタウン自治体の首長らと共にホストタウン交流について発表を行う。

また、アリ大使のご助力によりイスマイル・オマール・ゲレ ジブチ共和国大統領との接見の機会をいただく。



R1.9 小高産業技術高校生徒によるせかいむすびワークショップ(台湾)



東の食の会が提案するホストタウン向け食文化交流「せかいむすび」に取り組むため、小高産業技術高校商業科の生徒にワークショップを実施。生徒が市内産米と台湾料理をコラボしたおむすびレシピを考案する。

5 これまでの交流について

R1.9 ジャパンハウス(アメリカ)

米国ロサンゼルスの外務省施設「ジャパンハウス」で米国と交流するホストタウンの活動報告会が開催され、本市とUSAサーフィンとの交流が紹介される。
併せて、レセプションで地酒「御本陣」をPRした。



R1.10 ホストタウン動画発表会(ジブチ)

「小学生ホストタウン動画コンテスト」に応募した市内スポーツ少年団の作品(※)が選ばれ、東京で開催された発表会に団員が招待される。
橋本聖子オリパラ大臣やアリ大使も臨席され表彰を受けたほか、団員は日本オリンピックセンターなども視察させていただいた。

※ 平成30年にジブチの子ども達とした大甕サッカースポーツ少年団と鹿島SCスポーツ少年団



5 これまでの交流について

R1.10 ふくしまフェスティバルin郡山(台湾)

県・県内ホストタウン自治体共催のホストタウンイベントに出展。

ホストタウン交流のパネルなどを展示したほか、小高産業技術高校の生徒が考案した「せかいむすび」（小籠包おむすび・角煮おむすび）を来場者へ振舞い、台湾の食文化や市内産米のPRを行った。



5 これまでの交流について

R1.11 復興「ありがとう」ホストタウンサミットin Jヴィレッジ(共通)

Jヴィレッジで開催された復興「ありがとう」ホストタウンサミットに市長や市内サッカー少年らが参加。ブラインドサッカー体験や日本-アルゼンチンの代表親善試合を観戦。



R1.11 第2回復興「ありがとう」ホストタウン連絡協議会(共通)

Jヴィレッジで開催された第2連絡協議会に市長が出席。

復興「ありがとう」ホストタウン登録証を授与されたほか、
復興「ありがとう」ホストタウン大使にポケモンが任命される。



5 これまでの交流について

R1.11 復興「ありがとう」ホストタウンフレーム切手制作(共通)

日本郵便の協力により、南相馬市復興「ありがとう」ホストタウンのフレーム切手を制作。

市買取1,000シート、一般販売200シート限定で発行され本市の交流相手国関係者などに贈呈。



5 これまでの交流について

R1.11 高校生によるホストタウンPRの取組み(ジブチ・台湾)

小高産業技術高校の生徒達が、小高の賑わい創出イベント「おだフェス」を開催し、本市のホストタウン交流相手であるジブチ共和国・台湾の文化等を紹介するブースを出展。

R1.11 韓国ローラスポーツ選手激励訪問(韓国)

寒河江市で韓国ローラスポーツ連盟強化選手が合宿した際、市担当者2名が訪問し激励した。(寒河江市連携事業)

R1.11 自衛隊護衛艦が繋ぐジブチ・南相馬絆交流事業(ジブチ)

防衛省・外務省の協力により、ジブチ拠点へ向かう自衛隊護衛艦の荷室を利用して、市民から募った文具やスポーツ用品等をジブチ共和国へ贈呈。



5 これまでの交流について

R1.11 台湾アーティスト等のあきいちステージ出演(台湾)

台湾のアーティスト陳建年氏、よしもと台湾住みます芸人らが来市。

あきいち2019でのステージ出演や、南相馬ジュニアコーラスアンサンブルとの交流を実施。



5 これまでの交流について

R1.12 台湾関係機関表敬訪問(台湾)

副市長が台湾へ渡航。台湾オリンピック委員会を表敬するとともに、台湾棒球（野球）協会に激励の寄書きを贈呈。

R1.12～R2.2 ジブチ共和国洪水被害たすけあい募金(ジブチ)

ジブチで11月に発生した豪雨災害に市、市議会、市職員からの義援金及び市民募金を見舞金として駐日大使館へ寄付。



5 これまでの交流について

R2.1～R2.2 台北國際動漫節2020(台湾)

台北市で開催された「台北國際動漫節」に台湾と交流するホストタウン
3自治体と共同出展。本市の復興状況や相馬野馬追などのPRを行う。



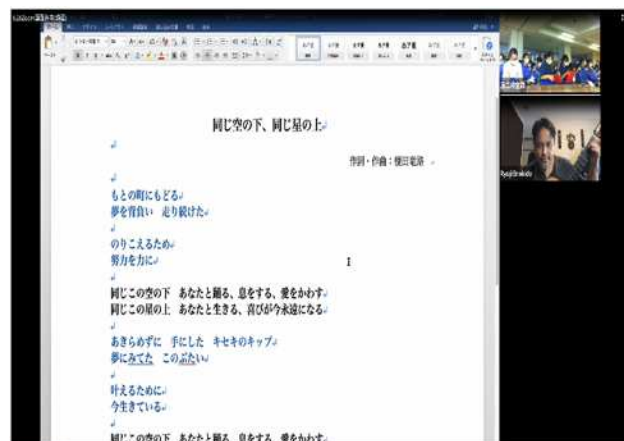
R2.2 台湾人Youtuberの取材受入れ(台湾)

台湾人Youtuber「MaoMaoTV」が来市し、本市の復興状況や台湾との
ホストタウン交流について取材を受けると共に中学生などとの交流を実施。
3月に投稿された動画は200万回以上の再生を記録。



5 これまでの交流について

R2.5 原町第二中学校ホストタウン学習(共通)
原町第二中学校の一年生78人が授業でホストタウンの総合学習に取り組むこととなり、市職員がホストタウンについてのワークショップを実施。



R2.6 ホストタウン応援ソング作成事業(共通)
内閣官房主導のホストタウン応援ソング作詞に取り組む原町第二中学校生徒会有志へ、講師の榎田竜路氏によるオンラインワークショップを開催。

R2.6 米国人によるワークショップ(アメリカ)
原町第二中学校一年生の総合学習授業で、米国人市職員によるワークショップを実施、米国の文化や世界の給食事情について講義を行う。



5 これまでの交流について

R2.8 ホストタウン応援ソング作成事業 ミニ発表会(共通)

原町第二中学校生徒会有志が作詞したホストタウン応援ソングについて、学年ごとのミニ発表会を実施。



R2.9 復興ありがとうホストタウン連絡協議会意見交換会(共通)

連絡協議会会長の橋本聖子オリパラ担当大臣と副会長3名(南相馬市長、加美町長、山田町長)が、オンラインで意見交換を行う。

R2.9 ジブチ大統領夫人メッセージ受領(ジブチ)

令和元年11月に発生した、ジブチ豪雨災害に対する本市からの支援についてジブチ大統領夫人の名によりお礼のメッセージをいただく。

5 これまでの交流について

R2.10 県内ホストタウン首長等と橋本オリパラ大臣の意見交換会(共通)
橋本大臣が来県し、郡山市役所で知事や県内ホストタウン自治体首長と意見交換を行う。



R2.10 台湾代表野球チームへの寄書き作成(台湾)
市内野球スポ少の団員が、台湾代表野球チームを応援する寄書きを作成。
台北駐日経済文化代表処を通じ台湾野球協会へ寄贈する。



5 これまでの交流について

R2.10 スポーツ文化交流ワークショップ(アメリカ)

県内プロ球団「福島レッドホープス」によるホストタウンワークショップが
みちのく鹿島球場で開催され、市内野球スポ少団員が参加。

元メジャーリーガー岩村明憲監督が日本と米国の野球文化の違いなど講話した
ほか、選手たちによる実践型ワークショップを行った。



5 これまでの交流について

R2.10 ローカルメディア活用ホストタウン情報発信事業(共通)

福島民報・福島民友の2紙に本市の取組みを紹介する記事を掲載し、広く住民に情報発信を行った。

R2.11 ホストタウン応援ソング制作事業(共通)

原町第二中学校で6月から継続して実施している応援ソング制作について、榎田講師による対面ワークショップ及び生徒達の歌唱の撮影録音を行う。



R2.11 交流自治体中学生親善野球交流ONLINE(台湾)

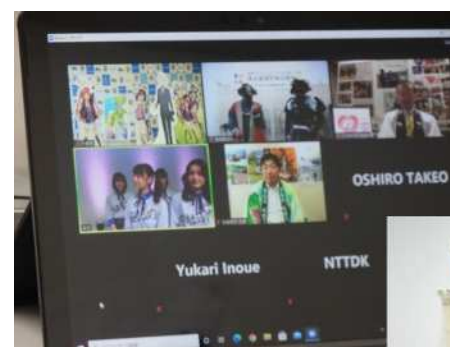
例年開催している東京都杉並区や台北市との中学生野球交流の代替として、杉並区や台北市の中学生とのオンライン交流を実施。参加自治体の野球少年が互いの街を紹介するなどの交流を行った。

5 これまでの交流について

R3.2 ホストタウン学習成果報告会(共通)
原町第二中学校1年生が取組んだホストタウン学習についての成果報告会に市長が招かれ、生徒達が作成した交流相手国への応援グッズを市長が受領。
受領したグッズは大使館等を通して相手国関係者へ贈呈した。



R3.2 台北国際動漫節2021(台湾)
前年に続き、台北国際動漫節へ出展。
新型コロナウイルス感染拡大で台湾へ渡航できなかったため現地スタッフに依頼し、PRパネルの出展やオンラインでのステージ参加を行う。



R3.2 南相馬市ホストタウンPR動画制作(共通)

交流相手国に向けた南相馬市ホストタウンPR動画「空編」「Voice編」「未来への切符編」の三部作を制作。市公式Youtubeなどで公開する。

R3.2 ローカルメディア活用ホストタウン情報発信事業(共通)

令和2年10月に引続き、本市ホストタウンの取組みについて福島民報・福島民友の2紙に掲載いただく。

R3.2 ホストタウン応援ソング制作事業(共通)

原町第二中学校生徒会有志の協力により制作されたホストタウン応援ソング動画がホストタウンWEBサイトにて公開。



R3.2 ホストタウンサミット2021(台湾・アメリカ)

ホストタウンサミット2021がオンラインで開催。

市担当者が参加し台北国際動漫節への出展の取組みや、米国ホストタウン連携事業への参画について紹介する。

R3.7 謝代表とのオンライン交流(台湾)

台北駐日経済文化代表処の謝代表が来県され、白河市の小学校訪問に合わせて台湾の復興「ありがとう」ホストタウンである本市と北塩原村の児童生徒にも台湾バナナを贈呈いただいた。

本市からは、令和2年にホストタウン学習に取り組んだ原町第二中学校の生徒が参加し、北塩原村の小学生と共にオンラインでバナナのお礼などを述べた。



5 これまでの交流について

R3.7 東京2020オリンピック(ジブチ)

東京オリンピック出場のため来日しているジブチ選手団へ向けて、SNSを通じて応援メッセージを送付。

選手団代表よりお礼のビデオメッセージをいただく。

R3.7 東京2020オリンピック(アメリカ)

静岡県牧之原市で事前合宿中の米国サーフィン選手団に、相馬野馬追の扇子等記念品を送付して激励。

R3.8 アリ大使退任挨拶(ジブチ)

ジブチ共和国のアリ駐日大使が退任挨拶のため来市。ジブチからの震災義援金を活用し整備されたNIKOパークなど市長とともに視察される。



5 これまでの交流について

R3.8 台湾パラリンピック委員会とのオンライン交流(台湾)

台湾を相手とするホストタウン自治体が合同で、台湾パラリンピック委員会とオンライン交流し同委員会へ応援旗を贈呈。（台湾ホストタウン連携事業）

R3.9 第4回復興「ありがとう」ホストタウン連絡協議会(共通)

オンラインで開催された第4回連絡協議会総会に市長が出席。

丸川珠代オリパラ担当大臣と意見交換を行う。

R3.9 復興「ありがとう」ホストタウンサミット(共通)

復興「ありがとう」ホストタウンサミットがオンラインで開催され市長が出席。メダリストとのオンライン交流、特徴的なホストタウン活動を行った自治体の紹介などが行われた。

サミットの結びに、震災を風化させないこと・交流相手との友好深化などについて共同宣言を採択。



5 これまでの交流について

R3.9 台湾×日本オンライン交流会(台湾)
台湾オリンピックとのオンライン交流を実施。
(台湾ホストタウン連携事業)



R3.9 USA HOST TOWN ONLINE EVENT2021(アメリカ)
米国オリンピックとのオンライン交流を実施。(米国ホストタウン連携事業)

R3.10 日台合同東京2020大会オンライン報告会(台湾)
日本と台湾から関係者が参加し東京2020大会でのホストタウン交流についてオンライン報告会を実施。(台湾ホストタウン連携事業)

R3.10 復興「ありがとう」ホストタウンInstagram(共通)
復興「ありがとう」ホストタウンInstagram企画として、
東北出身アイドル「いぎなり東北産」とのコラボ投稿を行う。



5 これまでの交流について

R3.11 堀内詔子オリパラ担当大臣来市(共通)

堀内詔子オリパラ担当大臣が来市され、市長との意見交換やNIKOパークの視察、ホストタウン交流に取組んだ原町第二中学校生徒との座談会を実施。



R3.12 台湾・杉並親善野球交流ONLINE(台湾)

新型コロナウイルスの影響により中止になった「親善野球交流」の代替として、台北市・杉並区と本市の中学生とのオンライン交流を実施。



6 東京2020オリンピック・パラリンピック

R2.1～R3.9 東京2020都市装飾事業

本県あづま球場での東京2020大会野球・ソフトボール競技開催に向け、県と県内市町村が連携しJR主要駅や公共施設等にのぼり旗や横断幕等を掲出、機運醸成を図った。なお、大会の延期に伴い一時撤去したが、令和3年2月から大会終了後まで再掲出を行った。



R3.3.25 東京2020オリンピック聖火リレー・セレブレーション

本市が聖火リレー初日の最終通過自治体に選ばれ、ゴール地点の雲雀ヶ原祭場地では聖火到着を祝うセレブレーションが開催された。

聖火ランナーとして石神中学校の早坂優一君などが聖火トーチを繋ぎ、最終ランナーの室屋義秀さんがゴールステージに聖火を灯した。

また、本市独自に騎馬武者によるコース御先乗りや螺役による礼螺披露、甲冑着付けや乗馬体験コーナーを設けるなど、市の文化や魅力のPRを図った。

さらに、市民から選ばれたサポートランナー20人が最終ランナーの伴走を務め、市民ボランティア約140人はじめ騎馬会や市職員など約340人が運営協力にあたるなど、多くの市民が聖火リレーに参画した。



6 東京2020オリンピック・パラリンピック



6 東京2020オリンピック・パラリンピック



R3.5.29 東京2020NIPPONフェスティバル「モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ」

東京2020大会の文化プログラムであるNIPPONフェスティバルの東北復興をテーマにしたプログラムの操演が、本県出身の箭内道彦氏の監修により雲雀ヶ原祭場で開催された。

感染症対策のため無観客開催となったが、東北を象徴する巨大人形「モッコ」が生き生きと操演される姿が、メディアやネットなどで配信され、被災地の復興が全世界へPRされた。



R3.8 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル

パラリンピック聖火リレーの素となる種火を、原町中央ロータリークラブ及び3.11希望の灯り実行委員会の協力によりゆめはっと前の「3.11希望の灯り」から採火した。

被災地の復興と鎮魂の想いを込めて本市が採火した種火は、Jヴィレッジで開催された聖火フェスティバルを経て、東京で全国の種火と集火され、パラリンピック聖火リレーに使用された。





**Arigato
ありがとう
Merci 謝謝 Thank you**



南相馬市
MINAMISOMA

【復興ありがとうホストタウン交流
・東京2020関連事業の記録】
令和4年3月 南相馬市 市民生活部
スポーツ推進課 ホストタウン推進係